OIEコードの改正について

資料1 0 | Eコードの改正について

資料2 OIEコード改正の主な項目に関する主要論点

参考資料1-1 OIE陸棲動物衛生規約委員会会合の報告(仮訳)

参考資料1-2 BSE(改正提案)(仮訳)

参考資料1-3 Report of the meeting of the OIE terrestrial animal health standards commission (OIEコード委員会報告:原文抜粋)

参考資料2-1 ニュージーランドのBSE国別評価措置についての公 式論評(抜粋、仮訳)

参考資料2-2 Officials' Review of New Zeland's BSE Country-Categorisation Measure (原文)

OIEコードの改正について (2007年版)

OIE陸生動物コードの構成

- 1. 一般条項
 - 疾病共通の一般的な規定
 - リスク分析 輸出入の手続き 等
- 2. 疾病別の規定
 - 現在93の疾病をリストアップ
 - 対象動物、疾病別に貿易条件等を規定
- 3. 附則
 - 動物福祉、サーベイランスのガイドライン等
- 4. 国際衛生証明書のモデル



今回の改正提案事項(1)

- 1. 一般条項
 - 定義
 - ゾーンとコンパートメント
- 2. 疾病別の規定
 - 狂犬病、口蹄疫
 - ブルータング、BSE
 - 馬インフルエンザ、馬伝染性貧血、馬ピロプラ ズマ、馬鼻肺炎、鼻疽、馬ウイルス性動脈炎
 - 豚コレラ
 - 島インフルエンザ

今回の改正提案事項(2)

- 3. 附則
 - ガイドライン:ブルータングのサーベイランス、 鳥インフルエンザのサーベイランス、鳥インフ ルエンザウイル スの不活化、動物の死体処 分、動物福祉
 - トレーサビリティの一般原則

BSE

現在の各カテゴリーとその要件(1)									
カテゴリ	リスク 評価	サーベイランス	BSE 発生状況	リスク低減措置	感染牛 等の 処分				
無視 でき るリ スク	実施	B型 サーベイ ランスを 実施中	発生なし 輸入牛の みで発生	①報告・教育等が7年 以上 ②フィードバンが8年 以上	ー 感染牛 の処分				
		,	国内発生あり	①過去11年以内に 自国内で生まれた牛 で発生がないこと ②報告・教育等が7年 以上 ③フィードバンが8年 以上	感染牛、 コホー ト牛の 処分				

カテ	リス	サーベイ	BSE発生状		感染牛
ゴリ	ク評 _ 価	ランス	況 		等の処 分
管理さ れたリ スク	実施	A ベス 中 ※ サーン 施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	発生なし 輸入牛のみで発生 国内発生あり	報告・教育等が行われ、フィードバンが効果的に実施されているが、 1)報告・教育等が7年未満、 又は2)フィードバンが8年未満	ー 感染 の シ 会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
不明なリスク	上記のいずれにも該当しない場合				

改正案の概要(1)

無視できるリスク国」から輸入する生体牛の 貿易条件の新設

これまでは、特に条件がなかったが、当該牛が 備えるべき要件として以下を規定

- ① 母牛及び由来する牛群が恒久識別制度によって識別されている
- ② コホート牛でない
- ③ フィードバンの効果的実施日以降に出生

改正案の概要(2)

「無視できるリスク国」から輸入する反芻動物由来の肉骨粉またはそれらを含む製品の貿易条件の新設

これまでは、特に条件がなかったが、 以下を規定

フィードバンが実施される以前に生まれたた牛を原料とする製品は貿易すべきでない

改正案の概要(3)

食品等に利用する骨由来ゼラチンの 原料の条件の変更

原料となる骨から、

- 「管理された国」30ヶ月を超える牛の頭蓋骨
- ・「不明リスク国」 12ヶ月を超える牛の頭蓋骨及び脊柱(尾 椎を除く)

を除外すべきという条件の廃止 (原料として骨を使ってもよい)

OIEコード改正の主な項目に関する主要論点

OBSE

(1) 生体牛、肉骨粉等に関する貿易条件の変更

飼料規制の実施前に生まれた牛のリスクが、実施後に生まれた牛 と異なること考慮し、以下のように規制を強化する提案が行われて いるが、これについてどのように考えるか。

- ①「無視できるリスクの国」
 - ・ 生体牛を輸出する場合に「フィードバンの効果的実施日以降 に出生していること」等の条件を追加
 - 肉骨粉等を輸出する場合、「フィードバンの実施日以前に生まれた牛を原料とするものは貿易すべきでない」との条件を 追加
- ②「管理されたリスクの国」
 - ・ 生体牛を輸出する場合、国内発生がある場合に適用していた 「フィードバンの効果的実施日以降に出生していること」の条 件を国内発生がない場合にも適用
- (2)「管理されたリスク国」及び「不明のリスク国」の骨由来ゼラチン及びコラーゲンの食品、飼料、化粧品、医薬品等への利用

ゼラチン及びコラーゲンの原料として「管理されたリスクの国」の30か月超の頭蓋骨、「不明のリスクの国」の12か月超の頭蓋骨及び脊柱を利用不可としていた条件を削除する提案が、その安全性を示す科学的根拠とともに示されているが、どう考えるか。

OIE陸棲動物衛生規約委員会会合の報告 パリ. 2006. 10. 2-13

_	
一	77
ᄺ	ж

仮 訳

Terrestrial Code Commission) met at the OIE Headquarters in Paris from 2 to 13 員会 (以下、コード委員会という)が開かれた。 October 2006.

The members of the Terrestrial Code Commission are listed in Appendix I. The agenda コード委員会の委員は、付録 I に示している。採択された議題は、付録 II の通りで adopted is given in Appendix II.

The Terrestrial Code Commission examined various OIE Terrestrial Animal Health Code コード委員会は、以前の会合及び総会での未解決コメントに加え、8 月末までに各 (hereinafter referred to as the Terrestrial Code) texts in response to Member Countries' previous meeting and the General Session. During this meeting, the Terrestrial Code あり、その検討にあたってコード委員会は困難に直面している。 Commission again experienced difficulty in examining some of the comments because of the lack of explicit rationale.

The outcome of the Terrestrial Code Commission's work is presented as appendices to コード委員会の作業結果は、この報告に付録として添付している。現行のコードお shown as double underlined text, with deleted text in strikeout.

text will be proposed for adoption or held for further work.

comments were submitted as specific proposed text changes, supported by a scientific 有益であるということを繰り返し述べるものである。 rationale.

2007. Comments should be sent to the International Trade Department at: コメントの送付先は、国際貿易部(trade@oie.int)である。

The OIE Terrestrial Animal Health Standards Commission (hereafter referred to as the 2006年10月2日から13日にかけて、パリの OIE 本部で OIE 陸棲動物衛生規約委

ある。

|加盟国から受けたコメントに対応して、各種の OIE 陸棲動物衛生規約 (以下、コー comments received by the end of August, as well as outstanding comments from the ドという)を検討した。今回の会合においても、明確な根拠が不足したコメントが

this report. Amendments made to existing chapters and previously circulated drafts are よび以前に提示された原案に対する修正案は、取消線および二重下線文で示してい

Member Countries should note that, unless stated otherwise, all texts submitted for 加盟国は、他に定めた場合を除き、この報告(part A)でコメントのために提示さ comment in this report (Part A) may be proposed for adoption at the 75th General れた全文が、第 75 回総会で提案・採択される可能性があるということに留意すべ Session. Depending on the nature of the comments received on each text, the Terrestrial きである。各提案に対して受けたコメントの性質に応じて、コード委員会は、各項 Code Commission will indicate in its March 2007 meeting report whether a particular 目を採択のため提案するか、追加作業のために保留するか、2007 年 3 月の会合報 告に示す予定である。

The Terrestrial Code Commission strongly encourages Member Countries to participate コード委員会は加盟国に対し、この報告についてコメントを送ることにより OIE 国 in the development of the OIE's international standards by sending comments on this | 際基準の作成に参加するよう、強く働きかけるものである。コード委員会はコメン report. The Terrestrial Code Commission reiterates that it would be very helpful if トが、科学的根拠により裏付けられた具体的な文章変更案として提出されると大変

Comments on this report need to reach the OIE Headquarters by 10 February 2007 in 2007 年 3 月に行われる次のコード委員会会合で検討対象となるためには、この報 order to be considered at the next meeting of the Terrestrial Code Commission in March 告についてのコメントは、2007 年 2 月 10 日までに OIE 本部へ提出する必要がある。

trade.dept@oie.int.

(hereafter referred to as the Scientific Commission) for developing and revising chapters 会と水棲動物委員会の間で密接な連絡・協力が必要であることを言及した。 and appendices of the Terrestrial Code, and between the Terrestrial Code Commission and Aquatic Animal Health Commission (hereinafter referred to a the Aquatic Animals Commission) for harmonisation of the two Codes.

review the terms of reference of the Commissions and to improve coordination between 情報のやりとりを改善するための取り決めが行われた。 Commissions and Departments. Arrangements were made to improve the exchange of information including documents.

modification of the Code Chapter on avian influenza.

written comments: Argentina, Australia, Canada, Chile, the European Union (EU), Japan, にアルゼンチン、オーストラリア、カナダ、チリ、EU、日本、ニュージーランド、 New Zealand, South Africa, Sudan, Switzerland, Taipei China and the United States of 南アフリカ、スーダン、スイス、タイ、台湾、アメリカ。 America (USA).

A. TEXTS WHICH ARE SUBMITTED FOR MEMBER COUNTRY COMMENT

General definitions (Chapter 1.1.1.)

After considering many Member Countries' concerns about the definition of "animal Animal Handler(動物取扱者)の定義について、資格証明の必要性などの多くの加盟 Terrestrial Code Commission modified the text in the general definitions. An explanation | 議についての説明は、下の項目 19 アニマルウエルフェアに記述している。 for this decision may be found under Item 19 Animal Welfare below.

The Director General, Dr B. Vallat, welcomed the members and thanked them for their 事務局長、Dr B. Vallat は、委員を歓迎するとともに、重要な作業への積極的参加 willingness to participate in this important work. He noted the need of further close に感謝を述べた。彼は、コードの各章と附則の作成及び修正のために専門委員会、 communication and cooperation among Specialist Commissions, in particular between the 特にコード委員会と科学委員会の間で密接な連絡・協力が必要であること、並びに Terrestrial Code Commission and the Scientific Commission for Animal Diseases 陸棲動物衛生規約と水棲動物衛生規約の2つのコードの調和のために、コード委員

Dr Vallat briefed the Terrestrial Code Commission on the recent meeting he held with Dr Vallat は、専門委員会の議長と科学技術部及び国際貿易部の部長とともに開催し Presidents of Specialist Commissions and the directors of Scientific and Technical た最近の会合の概要をコード委員会に述べた。その会合の目的は、委員会の委任事 Department and the International Trade Department. The purpose of that meeting was to 頃の見直しと、委員会と各部署の連携を促すことであった。その結果、文書を含む

| The Terrestrial Code Commission had detailed discussions with Dr Vallat on: BSE コード委員会 は、以下の事項について、Dr vallat と詳細にわたる議論を行った:BSE | |Chapter and Appendix on BSE risk assessment; the future of draft guidelines of の章、及びそのリスク評価についての附則;トレーサビリティーのガイドライン原 traceability; the review of the Performance, Vision and Strategy [PVS] Instrument and 案の今後: Performance, Vision and Strategy [PVS]手法の見直し、並びに評価のため the development of indicators and manual for evaluators; the terms of reference for the の指標及びマニュアルの作成;証明書についてのアドホック会合への委任事項;ア ad hoc Group on certification; the definition of animal handler as recommended by the ニマルウエルフェアに関するワーキング・グループにより推奨された Animal Working Group on Animal Welfare, the urgently needed review of the Code Chapter on Handler (動物取扱者)の定義;緊急性の高い牛疫の章の見直し;地域主義及びコンパ rinderpest; the review of the Code Chapter on zoning and compartmentalisation; and ートメントの適用についての章の見直し:鳥インフルエンザについての章の修正。

The Terrestrial Code Commission thanked the following Member Countries for providing コード委員会は、コメント文を提出した以下の加盟国に感謝を述べるものである。

|A. 加盟国によるコメントに付される文章について

1. 一般定義 (第1.1.1.章)

|handler", including the proposed requirement for certification of competency, the 国の懸念を考慮した結果、コード委員会は、一般定義の文の修正を行った。この決

|Comments received from countries on the definitions of "slaughter" and "stunning" will "と殺 slaughter"及び"気絶 stunning"の定義について各国から受けたコメントは

be forwarded to the Working Group on Animal Welfare for further examination.

Noting that there are two different definitions for "surveillance", one in Chapter される予定である。 advice from the Scientific Commission for Animal Diseases, for a single definition of surveillance, including examination of the closely-related definition of "monitoring".

The Terrestrial Code Commission reviewed the definitions adopted for 'veterinary | コード委員会は、'veterinary services', 'veterinary authority', 'veterinary administration services', 'veterinary authority' and 'veterinary administration' and the usage of (as appropriate). Only after the definitions have been finalised can the use of the various とができる。 terms throughout the Terrestrial Code be reviewed and modified as appropriate.

The revised chapter, which is presented at Appendix III, is circulated among Member | 付録Ⅲにある本章の改正案は、コメントのために加盟国に提示したものである。 Countries for comment.

- 2. **Evaluation of Veterinary Services**
- Evaluation of Veterinary Services (Chapter 1.3.3.) a)
- Performance, Vision and Strategy Instrument

| will not form part of the Code. Rather, they will be published by the OIE as an official より公表される予定である。 tool for use in the evaluation of Veterinary Services, in accordance with Chapters 1.3.3. and 1.3.4.

Zoning and compartmentalisation

|the incorporation of the concept of compartmentalisation into specific disease chapters |の章にその取り込みを検討するよう要請した。 where applicable.

|詳しく検討するため、アニマルウエルフェアに関するワーキング・グループに提出

1.1.1.and the other in Appendix 3.8.1., the Terrestrial Code Commission decided to seek 第 1.1.1.章と附則 3.8.1.において、"surveillance" の定義が異なることに関して コー ド委員会は、"surveillance"の統一的な定義について、これと密に関係する"monitoring の定義とあわせて科学委員会に助言を求めることとなった。

の定義及びこれらの用語のコード内での使用について見直しを行った。 コード these terms in the Terrestrial Code. The Terrestrial Code Commission agreed that, in 委員会は原則として、'competent authority'、'veterinary authority' 及び 'veterinary principle, definitions for the terms 'competent authority', 'veterinary authority' and services' という用語の定義を明確にし、これらの用語をコードを通じて統一的に用 'veterinary services' should be clarified and steps taken to ensure that these terms are いるべきであるとの結論に達した。 コード委員会は、'veterinary administration'と used consistently throughout the Code. The Terrestrial Code Commission proposes to いう用語を削除し、他の適切な用語を使うことを提案する。定義が最終決定した後、 eliminate the term 'veterinary administration' and instead use one of the other terms コード全体を通して用いられている様々な用語の使用を見直し、適切に修正するこ

- 2. 獣医サービスの評価
- a) 獣医サービスの評価(第 1.3.3.章)
- b) Performance, Vision and Strategy 手法

The Terrestrial Code Commission discussed with Dr Vallat the future development of the コード委員会は、評価実施のための手引き書及び指針の作成に関して、今後の PVS | Performance, Vision and Strategy [PVS] Instrument and next steps in the development of 手法の作成と次の作業について Dr Vallat と話し合った。コード委員会は、進行中 a Handbook and Indicators for conducting evaluations. The Terrestrial Code Commission の作業、並びに 10 月 31 日から 11 月 2 日に開催が予定されている獣医サービス評 |noted the work under way and the planned meeting of the *ad hoc* Group on the |価についてのアドホック会合の結果に留意することとした。コード委員会は3月の |Evaluation of Veterinary Services, which will take place from 31 October to 2|会合でアドホック会合の結果を受けた見直しを行う予定である。なお、PVS 手法、 November. The Terrestrial Code Commission anticipates reviewing the work of the ad 手引き書及び指標は、コード本体には含まれない見込みである。これらは、第 1.3.3. | hoc Group at its March meeting. The PVS Instrument, the Handbook and the Indicators | 章及び第 1.3.4.章をに基づいて、獣医サービスの評価に用いる公式手法として OIE

|3. 地域主義及びコンパートメントの適用|

|The Terrestrial Code Commission has requested that the Scientific Commission evaluate コード委員会は科学委員会に対し、コンパートメントの概念を適用可能な特定疾病

a) Zoning and compartmentalisation (Chapter 1.3.5.)

An expert was asked to review the chapter and incorporate Member Countries' Appendix IV. The draft chapter is circulated among Member Countries for comment.

Practical guidelines on compartmentalisation for avian influenza

The Terrestrial Code Commission expects to produce a draft for circulation as part of the 年3月の報告の中で、この原案を提示する予定である。 March 2007 report.

International transfer of pathogens (Chapter 1.4.5.)

The Terrestrial Code Commission considered comments received from Member コード委員会は、加盟国からのコメントについて検討を行った。その結果、更新に Countries. Reassurance was sought that material removed from the revised chapter would より削除された部分は、陸棲動物の診断検査及びワクチン手引き書(以下、マニュ be retained in the *Manual of Diagnostic Tests and Vaccines for Terrestrial Animals* アルという) に移動して掲載すべきことを再確認した。これにより、生物委員会の 9 Standards Commission (hereinafter referred to as the Laboratories Commission) at its 予定でありそれまでの間、第 1.4.5.章は、コードから削除されることはない。コー | 13-15 September meeting, A new edition of the *Terrestrial Manual* will be developed in ドの改正は、マニュアルの改正と協調し、同時に行う予定である。 2007. Chapter 1.4.5. will not be removed from the Terrestrial Code. The amendments in the Code will be harmonised with amendments in the Terrestrial Manual and will be made at the same time.

5. Rabies (Chapter 2.2.5.)

Countries for comment.

this chapter in relation to the use of recombinant vaccines in a live virus vector. The revised chapter, which is presented at Appendix V, is circulated among Member いるものである。

Paratuberculosis (Chapter 2.2.6)

proceed with revision of the Paratuberculosis Chapter without consulting the Biological 病の章の改正を進めることはできないと決定していた。 Standards Commission on diagnostic methods.

|a) 地域主義及びコンパートメントの適用(第 1.3.5.章)

コード委員会は OIE 会報(No.2006 - 2)で公表した科学委員会の基本的考え方に関 comments, taking into account the input from the Scientific Commission's concept する文書を考慮しながら、この章の見直し及び加盟国によるコメントを検討するよ paper published in the OIE *Bulletin* (No. 2006 - 2). On the basis of further discussion, う専門家に依頼した。さらなる検討のたたき台として、コード委員会は、付録Ⅳに the Terrestrial Code Commission drafted the revision of Chapter 1.3.5. shown in 示されている第 1.3.5.章の修正案を作成した。本章の改正案は、コメントのために 加盟国に提示しているものである。

|b) 鳥インフルエンザへのコンパートメント適用についての実用的ガイドライン Experts have been commissioned to develop practical guidelines on the application of the コード委員会は鳥インフルエンザに関するコンパートメントの概念適用についての compartmentalisation concept to avian influenza. There is a possibility of applying these ガイドラインの作成を、専門家に依頼した。これらのガイドラインは、ニューカッ guidelines simultaneously to Newcastle disease. The Terrestrial Code Commission スル病にも同時に適用される可能性がある。コード委員会は、この作業を支援する examined an early draft text and provided feedback to the experts to assist in this work. ために、この素案について検討し専門家へ意見を提供した。コード委員会は、2007

|4. 病原体の国際的な移動(第 1.4.5.章)

(hereinafter referred to as the Terrestrial Manual). This was endorsed by the Biological 月 13 日から 15 日の会合が追認された。マニュアルの新版は、2007 年に作成する

|5. 狂犬病(第 2.2.5.章)

The Code Commission followed advice from the Laboratories Commission and updated コード委員会は生物委員会のアドバイスに従い、組み換え生ワクチンの使用に関し てこの章を更新した。付録Vにある修正案は、コメントのために加盟国に提示して

|6. ヨーネ病(第 2.2.6.章)

|The Terrestrial Code Commission had decided at its March meeting that it could not コード委員会は 3 月の会合で、診断法についての生物委員会の助言なしにはヨーネ

Standards Commission will make recommendation to the Terrestrial Code Commission. such experts the text circulated among Member Countries as Appendix XXXVII to the することに利点があると考えたところである。 meeting report of September 2005 together with the comments subsequently received from Member Countries.

7. Foot and mouth disease

a) Foot and mouth disease (Chapter 2.2.10.)

Scientific Commission for consideration. Recommendations from the Scientific その後コード委員会は、科学委員会からのアドバイスを取り入れたところである。 Commission were incorporated by the Terrestrial Code Commission.

the new article 2.2.10.6.(bis) and a definition for a containment zone were submitted to 討に付され、その結果、本章に書き加えられることとなった。 the Terrestrial Code Commission for consideration. The recommendations were adapted for inclusion in the chapter.

Member Countries for comment.

Guidelines for surveillance of foot and mouth disease (Appendix 3.8.4.)

|the feasibility of incorporating the concept of compartmentalisation into the FMD|ンパートメントの概念適用が現実的かどうかについて検討するよう要請した。 surveillance appendix (Appendix 3.8.4.).

Bluetongue

and of the Appendix on surveillance were modified accordingly. These texts, which are ために加盟国に提示しているものである。 presented at Appendices VII and VIII, are circulated among Member Countries for comment.

The Biological Standards Commission has undertaken to consult experts for advice on 生物委員会は、診断法について専門家にアドバイスを求めることを引き受けている。 diagnostic methods. Once this information is received and assessed, the Biological この情報を受け取り分析した後、生物委員会はコード委員会に提案を行う見込みで ┃ある。コード委員会は、加盟国に提示されている 2005 年 9 月の会合報告の付録X The Terrestrial Code Commission considered that there would be merit in forwarding to XXVIIとともに、その後加盟国から受け取ったコメントを合わせて、専門家に転送

7. 口蹄疫

a) 口蹄疫(第 2.2.10.章)

The comments received from Member Countries on the chapter were submitted to the 本章に関して加盟国から受けたコメントは、検討事項として科学委員会に提示した。

As requested in Resolution No. XXX of the 74th General Session, an ad hoc Group was 第 74 回総会の決議 No.XXXに従い、これまで口蹄疫清浄であった国又は地域に convened to consider the establishment of a procedure to expedite the recovery of status おいて局地的発生があった場合にステータス回復を促するための手続きの確立を検 in the event of a limited outbreak in a previously FMD free country or zone. The 討するアドホック会合が開かれた。このアドホック会合のアドバイスは科学委員会 recommendations of the ad hoc Group were endorsed by the Scientific Commission and に受諾され、新しい第 2.2.10.6 (bis) 及び封じ込め地区の定義がコード委員会の検

Suggested changes to the chapter, which are at Appendix VI, are circulated among 付録VIにある修正案は、コメントのために加盟国に提示しているものである。

|b) 口蹄疫サーベイランスのためのガイドライン (附則 3.8.4.)

|The Terrestrial Code Commission has requested that the Scientific Commission evaluate コード委員会は科学委員会に、口蹄疫サーベイランスの附則(附則 3.8.4)へのコ

8. ブルータング

The Terrestrial Code Commission reviewed comments received from Member Countries コード委員会は、加盟国からのコメント及び科学委員会からのアドバイスを検討し |and the recommendations from the Scientific Commission. The discussion by an た。前回コード委員会の会合の後すぐに開かれた、ブルータングについての緊急の emergency ad hoc Group on bluetongue held immediately after the meeting of the アドホック会合での議論も考慮した。サーベイランスについての章及び附則の文章 Terrestrial Code Commission was also taken into consideration. The texts of the Chapter は、それらに応じて修正された。付録Ⅶ及びⅧにあるこれらの文章は、コメントの

a) Bluetongue (Chapter 2.2.13.)

modified the northern latitude boundary in Articles 2.2.13.1. and 2.2.13.2.

bluetongue infected country are adequately addressed in the commodity articles.

determined that this is already covered by relevant articles in the chapter.

Bluetongue surveillance guidelines

Comments received from Member Countries on the first draft of the guidelines on ブルータングサーベイランスのためのガイドラインの原案について加盟国から受け application of compartmentalisation. The Terrestrial Code Commission will further ンパートメントの概念適用をさらに検討する予定である。 consider incorporating the concept of compartmentalisation in the bluetongue chapter in light of future comments from Member Countries.

9. Bovine brucellosis (Chapter 2.3.1.)

technical nature of the comments required consultation and that an ad hoc Group would 要とされ、2007年2月にアドホック会合が開かれることとなった。 be convened in February 2007.

10. Bovine spongiform encephalopathy

Risk assessment recommendations (Appendix 3.8.5.)

|a) ブルータング(第 2.2.13 章)

Considering recent outbreaks in Europe and the understanding that bluetongue is 近年のヨーロッパにおける発生及びこの地域におけるブルータングの地理的分布の increasing its geographical distribution in this region, the Terrestrial Code Commission 拡大を考慮して、コード委員会は、第 2.2.13.1.条及び 2.2.13.2.条の中の北限の修正 を行った。

Article 5 was deleted as per the Scientific Commission's recommendation. The 第 5 条は、科学委員会のアドバイスのとおり削除された。コード委員会は、ブルー Terrestrial Code Commission considers that the risks associated with importation from a タング汚染国からの輸入に関するリスクが、品目別の規定で適切に扱われていると 考えている。

The request to reassess the possibility of allowing importation of semen/embryos/oocytes コード委員会はワクチン接種ドナーからの精液/胚/卵子の輸入が可能かどうか、 from vaccinated donors was considered by the Terrestrial Code Commission. It was 再検討すべきという意見についても検討をおこなった。しかしこれについては、す でに本章の関連項目の中でカバーされているという結論に達した。

b) ブルータングサーベイランスのためのガイドライン

surveillance for bluetongue were reviewed by the Scientific Commission and appropriate たコメントは、科学委員会により検討され、文章に適切な修正が加えられた。コー changes to the text were made. The Terrestrial Code Commission noted the incorporation | ド委員会は、サーベイランスのためのガイドラインへのコンパートメントの概念適 of the concept of compartmentalisation in these surveillance guidelines and questioned 用について、人工授精センターや検疫所のような個別の施設を超えて適用すること how this could be applied, in practice, to anything more than an individual holding, such が現実的に可能かどうか議論を行った。媒介動物がいない場所についての原則は、 as artificial insemination centres and quarantine stations. The principle of vector free コンパートメントの適用を考慮しなくても、既存のコードにおいてすでに定められ premises is already well established in the Code without the need to consider the ている。コード委員会は、加盟国のコメントを踏まえて、ブルータングの章へのコ

9. 牛のブルセラ病(第 2.3.1.章)

|Significant comments were received from several Member Countries. The comments|いくつかの加盟国から有意義なコメントがあった。そのコメントは科学委員会によ |were reviewed by the Scientific Commission, which determined that the complex|り見直されたが、コメントが技術的に複雑であったことから専門家による検討が必

10. 牛海綿状脳症

|a) リスク評価に関する推奨事項(附則 3.8.5.)

Among a substantial number of comments suggesting modifications and better linkage to 本附則の修正、および第 2.3.13.章との連携に言及した多くのコメントが寄せられた |Chapter 2.3.13., the Terrestrial Code Commission recognised it should first address a 中で、コード委員会は、「科学委員会が作成した"BSE ステータス評価のための質 |comment from New Zealand requesting clarification of the purpose of this Appendix in |問表"と題した一連のガイドラインとの関係も念頭に、この附則の目的を明確化す |relation to a set of guidelines titled "BSE Questionnaire for country status recognition" |べきである」とのニュージーランドのコメントについて最初に検討を行った。OIE prepared by the Scientific Commission. The OIE has agreed to conduct procedures to は、加盟国の BSE ステータス評価のための手続きを実施することにすでに合意し recognise the BSE status of Member Countries. In view of this, the Terrestrial Code ている。このためコード委員会は、BSE リスク評価の実施に考慮すべき要素を定め

BSE risk assessment should be incorporated, without further review by the Terrestrial この際、コード委員会による再確認の必要はないとの結論に達した。 Code Commission, into the documents used for the official OIE categorisation of Member Countries.

current Appendix 3.8.5. be dropped from the Terrestrial Code. It was agreed that any detailed and very prescriptive documents should not be part of the Terrestrial Code.

Bovine spongiform encephalopathy (Chapter 2.3.13.)

the view that this should be addressed in Chapter 1.3.5. as it is a general consideration in べき事項であり、第 1.3.5.章で扱うべきだという見解に達した。 implementation of zone and compartment.

before the risk management measures were enforced. As a result, Articles 2.3.13.6., 果、第2.3.13.6条、第2.3.13.7条及び第2.3.13.12条を修正することとなった。 2.3.13.7. and 2.3.13.12. were modified.

the birth of the case - Article 2.3.13.3. paragraph 3 b).

recommendation because it doubted if the proposed definitions would be universally から、この提案を受け入れなかった。 practicable or enforceable.

Country-Categorisation Measure"

|(http://www.nzfsa.govt.nz/imported-food/bse-categorisation/report/index.htm), the して用いることができるよう第 2.3.13.14 条を改正する決定をした。

|Commission was of the opinion that Appendix 3.8.5. on factors to consider in conducting た附則 3.8.5.は、OIE の公式なステータス認定のための文書に統合すべきであり、

Once such guidelines become available to Member Countries on the OIE website or こうしたガイドラインが OIE のウェブサイトあるいはその他の方法利用できるよう otherwise, the Terrestrial Code Commission will propose to Member Countries that になれば、コード委員会は現行の附則 3.8.5.をコードから削除する予定である。コ ード委員会は、詳細について規定した叙述的な規定はコードの一部とすべきではな いと考えている。

b) 牛海綿状脳症(第 2.3.13.章)

|Some Member Countries requested clarification of the term "imported" appearing in 第 2.3.13.2 条の項目 a)侵入リスク評価に登場する "imported" の明確化を要求する |Article 2.3.13.2. point a) Release assessment. The Terrestrial Code Commission was of 加盟国があったが、コード委員会は地域及びコンパートメントの適用に際し議論す

The Terrestrial Code Commission examined outstanding concerns raised by the EU and コード委員会は、リスク管理措置の実施前に生まれた、感染の可能性があるコホー Japan regarding the risk of potentially infected animals present in the age cohorts borm トのリスクに関して、EU 及び日本から特筆された懸念について検討した。その結

The Terrestrial Code Commission was informed by the EU that an article from French コード委員会は、フランスの科学者(D. Calavas、V. Supervie, E. Morignat, D. scientists (D. Calavas, V. Supervie, E. Morignat, D. Costagliola & C. Ducrot) has been Costagliola & C. Ducrot)の論文が Journal on Risk Analysis に受理され、近いうちに |accepted for publication in the Journal on Risk Analysis and will be published very soon. |出版されるという情報を EU から得た。この文献によって、期間を定めた条件の変 |This document will provide the scientific rationale for changes made to the compliance 更(すなわち、7 年以内に生まれた牛で報告がないとする条件を 11 年以内に生ま period (i.e. the period of 7 years from the reporting of the case changed to 11 years from れた牛に変更一第 2.3.13.13 条 3 b項)についての科学的根拠が与えられることと なる。

|A Member Country requested to exclude the transverse processes of the thoracic and 第 2.3.13.13 条の 2 について、脊柱(脊椎)の定義から、胸椎及び腰椎の横突起、 |lumbar vertebrae and the wings of the sacrum from the definition of the vertebral column |並びに仙骨翼を除外するよう要求する加盟国があった。しかしコード委員会は、提 in point 2 of Article 2.3.13.13. The Terrestrial Code Commission did not adopt this 案された定義が、世界的に適用あるいは実施可能であるとは考えられなかったこと

The Terrestrial Code Commission examined comments from a Member Country コード委員会は、製造行程で確保される安全性により、ゼラチンが原料部位にかか regarding the safety of gelatine irrespective of the origin of source material due to the わらず安全であるとの加盟国からのコメントについて検討した。サポーティング・ safety of the production process. Based on the supporting document and a risk ドキュメント、並びに最近ニュージーランド食品安全委員会 New Zealand Food assessment recently published by the New Zealand Food Safety Authority (NZFSA, Safety Authority (NZFSA, 2005, Wellington) から発行され、"Officials' Review of New 2005、Wellington) and entitled "Officials' Review of New Zealand's BSE Zealand's BSE Country-Categorisation Measure"と題されたリスク評価に基づいて、 コード委員会は、生前・生後検査に合格した牛由来の骨の全てをゼラチンの原料と

Terrestrial Code Commission decided to revise Article 2.3.13.14, to allow all cattle bones to be used as a source material for the production of gelatine, provided the cattle have passed ante-mortem and post-mortem inspections.

The revised chapter, which is presented at Appendix IX, is circulated among Member 付録IXにある本章の修正案は、コメントのために加盟国に提示しているものである。 Countries for comment.

Surveillance for bovine spongiform encephalopathy (Appendix 3.8.4.)

The Terrestrial Code Commission examined comments received from Member Countries コード委員会は、この附則についての加盟国からのコメントを検討した。附則 3.8.4. reason why Appendix 3.8.4. does not make any reference to the BSurvE model as an 利用可能であるという概念がコード全体に適用されているからである。 alternative method is that the concept of equivalence underpins all chapters of the Terrestrial Code.

helpful. Member Countries wishing to apply a more expanded version for BSE は、BSurvE モデルを用いることも可能である。 surveillance can use the BSurvE model.

Supporting document

drafting of the report.

|The supporting document, which is presented at Appendix XXVIII, is circulated among |付録XXVIIIにあるサポーティング・ドキュメントは、情報提供のために加盟国に提 Member Countries for information.

11. Equine influenza (Chapter 2.5.5.)

|c) 牛海綿状脳症に対するサーベイランス(附則 3.8.4.)

on this Appendix. Noting that some questions remain on the usage of the full BSurvE に代えて BSurvE モデルをそのまま用いることにはいくつか問題が残るという指摘 model instead of Appendix 3.8.4., the Terrestrial Code Commission reiterated its に対して、コード委員会は以下の意向を改めて表明した。: 附則 3.8.4.は、どの加盟 intention as follows: Appendix 3.8.4. was developed using a modified version of the 国にも容易に適用できるように、BSurvE モデルの修正版を使用して作成した。し BSurvE model so that it would be easily applicable to any Member Country. However, かしながら、加盟国が BSE の存在/有病率の推測のために BSurvE モデルの使用を the Terrestrial Code Commission does not see any problem in a Member Country 選択しても、コード委員会は何ら問題はないとの立場である。附則 3.8.4.で選択肢 choosing to use the full BSurvE model to estimate its BSE presence/prevalence. The として BSurvE モデルについて全く言及していないのは、同等と考えられる措置が

The Terrestrial Code Commission did not adopt country recommendations to modify | 附則で用いられている牛の部分集団の説明は一般に用いられる専門用語と一致して descriptions of cattle sub-populations, as those used in the Appendix are consistent with いることから、コード委員会は、それらを修正すべきであるという加盟国の提案を commonly used terminology. The Terrestrial Code Commission did not adopt a request | 受け入れなかった。また、表 1 を拡張し、さらに詳細に区分すべきであるという提 to expand Table 1 (Appendix 3.8.4.) to provide a more detailed breakdown of cattle 案についても、さらに細かく複雑な規定が役に立つことはないと考えたことから受 sub-populations because it considered that additional detail and complexity would not be け入れなかった。さらに細かい BSE サーベイランスを実施したいと考える加盟国

d) サポーティング・ドキュメント

The Terrestrial Code Commission received a fully revised supporting document on BSE コード委員会は、専門家グループにより作成され、完全に修正された BSE に関す prepared by a group of experts. The document was commissioned to provide supporting るサポーティング・ドキュメントを受け取った。そのドキュメントは、最近 BSE scientific evidence for recent changes made to the chapter on BSE. All Commission の章に施された変更に対して科学的根拠を提供するためのものである。委員会の全 members expressed their sincere appreciation to the experts who contributed to the メンバーは、報告原案の作成に貢献した専門家に対して、心からの感謝の意を表明 した。

示しているものである。

| 11. 馬インフルエンザ(第 2.5.5.章)

The Terrestrial Code Commission reviewed country comments on the draft chapter, コード委員会は、2006 年 3 月の会合の報告の一部として提示された原案に対する |which was circulated as part of its meeting report in March 2006. The chapter was|加盟国のコメントについて検討した。この章において、これらのコメントを考慮し |revised taking these comments into consideration. Most significantly, the chapter was |た修正が行われている。この章の修正は主として、コードの書式及び目的と一致す| modified to meet the requirements for safe trade, rather than identifying the status of の要求に焦点をあてた修正がおこなわれた。 importing country.

Submissions suggesting all trade in horses would require excessive quarantine period,疾病清浄でない国への輸入の場合を含め、全ての馬の貿易で必要以上の検疫期間を only require measures equivalent to those applied within the country.

The Terrestrial Code Commission received an enquiry about the scientific basis for コード委員会は、馬の精液及び胚の輸出入に関しては何の措置も求めていない(作 sought additional advice from experts and will revisit this issue at its March meeting. In り上げる予定である。その間この項は'検討中'とする。 the meantime, this article is placed 'under study'.

In response to an enquiry about the scientific rationale for adopting a period of 30 days (この章の他の部分で) 21 日間という期間が採用されている一方、(第 2.5.5.10.条 Terrestrial Code Commission decided to adopt a period of 21 days throughout the 21 日という期間を章を通じて適用することとした。 chapter.

The revised chapter, which is presented at <u>Appendix X</u>, is circulated among Member <u>付録X</u>にある、本章の修正案はコメントのために加盟国に提示しているものである。 Countries for comment.

- 12. Equine diseases (other than equine influenza)
- Equine infectious anaemia (Chapter 2.5.4.) a)
- Equine piroplasmosis (Chapter 2.5.6.) b)
- c) Equine rhinopneumonitis (Chapter 2.5.7.)

The Terrestrial Code Commission examined further comments received on Chapters コード委員会は、第 2.5.4.章、第 2.5.6.章及び第 2.5.7.章について受けたさらなるコ rhinopneumonitis cannot be deleted as this is the name used in the Manual.

modified to be consistent with the format and the purpose of the Code. Articles were るよう実施された。各条文には輸入国のステータス特定よりもむしろ、安全な貿易

including when imported into countries not free of disease, are not justified. Consistent 求めるといった提案は正しいとは言えない。コードの基本的な考えとして、清浄な with the approach of the Code, only countries or zones that are free or have adopted 国または地域、あるいは公式な疾病管理を適応している国あるいは地域でなければ、 official control for the disease should require the application of measures recommended この章で推奨されている措置の適用を要求することはできない。清浄でない国で管 in the chapter. Countries that are not free and do not have a control programme should 理プログラムを持たない国は、国内に適用しているものと同等の措置しか要求すべ きではない。

recommending that no measures be applied in regard to trade in equine semen and 業原案の第 2.5.5.5.条を参照)ことについて科学的根拠を求める意見を受けた。コ embryos (see Article 2.5.5.5. in the working draft). The Terrestrial Code Commission 一ド委員会は専門家にさらなるアドバイスを求め、この問題を 3 月の会合で再び取

(see Article 2.5.5.10.) as opposed to 21 days (used elsewhere in the draft chapter), the で) 30 日という期間が適用されていることについて科学的根拠を求める意見に対 Terrestrial Code Commission requested clarification from the members of the ad hoc して、コード委員会は、馬インフルエンザについてのアドホック会合の委員に説明 Group on Equine Influenza. In the absence of definitive advice on this point, the を求めた。この点に関して明確な説明はえられなかったことから、コード委員会は

- **|12. 馬の疾病(馬インフルエンザ以外)**
- a) 馬伝染性貧血 (第 2.5.4.章)
- b) 馬ピロプラズマ病 (第 2.5.6.章)
- |c) 馬鼻肺炎(第 2.5.7.章)

2.5.4., 2.5.6. and 2.5.7. As for equine infectious anaemia, country comments on point 3 メントを検討した。馬伝伝染性貧血に関して一時的に輸入される馬をカバーするた of Article 2.5.4.2. were accepted to cover equines imported on a temporary basis. As for め、第 2.5.4.2.条の項目 3 について加盟国からのコメントを受け入れることとした。 equine piroplasmosis, point 3 of Article 2.5.6.2. was modified to give clear guidance. In 馬ピロプラズマ病に関しては、明確な指針とするために第 2.5.6.2.条の項目 3 を修 response to member country requests, "equine herpes virus infection" was adopted in 正した。加盟国の要求に応えて、"馬ヘルペスウイルス感染症"という名称を第 2.5.7.2. Article 2.5.7.2. and added to the chapter title in parentheses. The reference to equine 条に採用し、括弧書きで章の表題に加えた。ただし馬鼻肺炎という名称は、マニュ |アルで用いられている名称であることから削除することはできない。

The revised chapters, which are presented at Appendix XI, XII and XIII, are circulated 付録XI、XII及びXIIIにある本章の修正案は、コメントのために加盟国に提示さ among Member Countries for comment.

Glanders (Chapter 2.5.8.)

The Terrestrial Code Commission examined newly-received comments on glanders in コード委員会は鼻疽について、3 月の会合の際に寄せられたコメントに加えて新た even for immediate slaughter, taking into account the zoonotic potential of B. malleus.

The revised chapter, which is presented at Appendix XIV, is circulated among Member 付録XIVにある、本章の修正案はコメントのために加盟国に提示しているものであ text from the September 2005 report are indicated with a coloured background to し今回の会議で加えられた修正には背景に色を付けて示している。 distinguish the two groups of proposal.

Equine viral arteritis (Chapter 2.5.10.)

The Terrestrial Code Commission examined comments received from Member Countries コード委員会は、加盟国から受けたコメントを検討し、適切な変更をおこなった。 and made appropriate changes.

The main change in Article 2.5.10.2. relates to young horses with maternal antibodies. 第 2.5.10.2.条の主な変更点は、移行抗体を持つ若齢馬に関わるものである。新鮮及 Articles 2.5.10.4, and 2.5.10.5, relating to fresh and frozen semen were combined.

text from the September 2005 report are indicated with a coloured background to し今回の会議で加えられた修正には背景に色を付けて示している。 distinguish the two groups of proposal.

13. Classical swine fever (Chapter 2.6.7.)

The Terrestrial Code Commission reviewed Chapter 2.6.7., which was largely コード委員会は、前回の総会で大幅に見直され採択された第 2.6.7.章を再検討し、 clarify the difference between Articles 2.6.7.3. and 2.6.7.4. (being with/without infection は、これらの項目の目的を明確にするために修正された。

れているものである。

b) 鼻疽(第 2.5.8.章)

addition to those received for its March meeting. Recognising the use of surveillance に受けたコメントについても検討した。サーベイランスプログラムの適用を考慮し、 programmes, Article 2.5.8.2. was modified based on a comment from Member Countries. 加盟国のコメントに基づき第 2.5.8.2.条が修正された。鼻疽清浄国からの馬に対し Point 3 of Article 2.5.8.3. was deleted, as testing is considered unnecessary for equines ては検査が不要であると考えられることから、第 2.5.8.3.条の項目 3 が削除された。 from glanders free countries. Point 3 of Article 2.5.8.4. was modified from 15 to 30 days 加盟国からの提案に基づき、他の疾病の検査期間に沿う形で実用性を考慮して、第 based on a proposal from a Member Country for reasons of practicality in line with other 2.5.8.4.条の項目 3 は、15 日から 30 日へと修正された。コード委員会は、B. malleus disease test periods. Article 2.5.8.5. was deleted, as the Terrestrial Code Commission による感染が人獣共通に起こる可能性があることを考慮すると、と場直行の場合で agreed with Member Countries' concerns about exemption from testing for equines, も検査を免除することには不安があるとの加盟国の意見に賛同し、第 2.5.8.5.条を 削除した。

|Countries for comment. In this Appendix, modifications made during this meeting on the る。この付録では 2 種類のコメントを区別するために、2005 年 9 月の報告書に対

c) 馬ウイルス性動脈炎 (第 2.5.10,章)

び凍結精液に関する第2.5.10.4.条及び第2.5.10.5.条が統合されている。

The revised chapter, which is presented at Appendix XV, is circulated among Member 付録XVにある本章の修正案は、コメントのために加盟国に提示しているものであ Countries for comment. In this Appendix, modifications made during this meeting on the る。この付録では 2 種類のコメントを区別するために、2005 年 9 月の報告書に対

13. 豚コレラ (第 2.6.7.章)

restructured and adopted in last General Session, and recognised that certain articles may 一部の項目はまだ修正を要すると認識した。第 2.6.7.3.条の項目 2 と第 2.6.7.5.条と |still need revision. To avoid possible confusion between point 2 of Article 2.6.7.3. and の混同を避けるため、第 2.6.7.5.条には清浄性の回復に関する項であることを明確 Article 2.6.7.5., titles of sub-article in Article 2.6.7.3. were modified to clarify that this にするために"以前に"という単語を挿入する一方、初回の清浄性獲得に関する項 article concerns the initial attainment of free status, while the word "previously" was であることを明確にするため、第 2.6.7.3.条の表題を修正した。加盟国のコメント inserted in Article 2.6.7.5. to clarify that this article concerns recovery of free status. In を考慮して、第 2.6.7.3.条と第 2.6.7.4.条との違い(野生の豚の群で感染があるかな light of Member Countries' comments, the title of Article 2.6.7.4. was modified to いか)を明確にするため、第 2.6.7.4.条の表題が修正された。第 2.6.7.4.条の項目 2

in the wild pig population). Point 2 of Article 2.6.7.4. was modified to clarify the intent of these articles.

Commission decided to seek advice from the Scientific Commission.

Suggested changes to the chapter, which are presented at Appendix XVI, are circulated 付録XVIにある、提案された修正案は、コメントのために加盟国に提示しているも among Member Countries for comment.

14. Avian influenza

a) Avian influenza (Chapter 2.7.12.)

Although few comments were received on this revised chapter from Member Countries, 修正案について加盟国から受けたコメントはわずかであったが、コード委員会は、 wild birds and zoo birds. The Terrestrial Commission therefore clarified the definition of にした (第2.7.12.1.条の項目 2 を参照)。 poultry (see point 2 of Article 2.7.12.1).

Considering the ongoing difficulty of Member Countries in applying the measures in the コードに書かれた措置の適用に際して、家きん以外の鳥類での報告を含めたあらゆ obligations of countries was added to Article 2.7.12.1.

infection if further investigation fails to isolate the virus or to detect viral RNA.

among Member Countries for comment.

Guidelines for the surveillance of avian influenza (Appendices 3.8.9.)

After reviewing countries' comments, the Terrestrial Code Commission revised the title |加盟国のコメント再検討した後、国が清浄性を回復するための言及であることを明 of Article 3.8.9.5. to clarify that it refers to countries declaring that they have regained 確にするために、コード委員会は第 3.8.9.5.条の表題を修正した。 freedom.

|Suggested changes to the Appendix, which are presented at Appendix XVIII, are 示しているものである。 circulated among Member Countries for comment.

Guidelines for the inactivation of avian influenza virus (Appendix 3.6.5.)

As for Member Countries' comments about harmonising time periods that animals must 清浄性の獲得のために動物が清浄の国/地域又はコンパートメントに存在すべき期 |be kept in free countries/zones or compartments to obtain free status (30 days per Article|間 (第 2.6.7.5.条で 30 日、第 2.6.7.7.条及びその項目で 3 ヶ月) を統一すべきである、 |2.6.7.5.; 3 months per Article 2.6.7.7. and subsequent articles), the Terrestrial Code|という加盟国のコメントに関しては、コード委員会は科学委員会にアドバイスを求 めることとした。

のである。

14. 鳥インフルエンザ

a) 鳥インフルエンザ (第 2.7.12.章)

the Terrestrial Code Commission noted that the Central Bureau has been receiving many |野鳥及び動物園の鳥を含めた様々な鳥で強毒性の鳥インクルエンザ(HPNAI) 感染が inquiries, from Member Countries and industry representatives, about the health status of 発生した特定の国の疾病清浄性について、事務局が加盟国及び業界代表から多くの particular countries following occurrences of HPNAI infection in various birds including 質問を受けていることに注目した。その結果コード委員会は、家きんの定義を明確

Code, which has resulted in trade bans being imposed following the reporting of any る鳥インフルエンザの発見報告に伴い貿易禁止が課されることがあり、加盟国で問 findings, including reports in birds other than poultry, a new point 4 clarifying the 題となっていることを考慮して、国の義務を明確にした新たな項目 4 が第 2.7.12.1. 条に追加された。

The Terrestrial Code Commission also provided a clarification in regard to the detection コード委員会はまた、ウイルス非存在下での抗体検出について明確にすることとし of antibodies in the absence of virus. Further investigation should be conducted to た。抗原の由来を特定するためにさらなる検査を実施すべきである。さらなる検査 identify the source of the antibodies. This should not be considered as an occurrence of により、ウイルスの分離あるいはウイルス RNA が検出されなかった場合、これは 感染発生と考えるべきではない。

Suggested changes to the chapter, which are presented at Appendix XVII, are circulated 付録 X VIIにある、提案された修正案は、コメントのために加盟国に提示しているも のである。

b) 鳥インフルエンザのサーベイランスについてのガイドライン(附則 3.8.9.)

付録XWにある、提案された附則に対する修正案は、コメントのために加盟国に提

c) 鳥インフルエンザウイルス不活化に関するガイドライン (附則 3.6.5.)

コード委員会は、第 3.6.5.2.条に規定された条件を見直すため加盟国より提出され |The Terrestrial Code Commission reviewed a research paper titled "Thermal Inactivation | た、Drs C. Thomas 及び D. Swayne による"鶏肉における H5N1 の高病原性インフ

recommendations on the thermal inactivation of avian influenza virus in poultry meat. 正された。 Article 3.6.5.1. was modified based on a communication from Dr Swayne regarding his review of his research findings on egg products.

Suggested changes to the Appendix, which are presented at <u>Appendix XIX</u>, are circulated <u>付録XIX</u>にある、提案された附則に対する修正案は、コメントのために加盟国に提 among Member Countries for comment.

15. Bovine and small ruminant semen (Appendix 3.2.1.)

|was not adopted, as the current definition of 'free country' does not assume that all|を前提としていないことから受け入れなかった。 animals are free of infection.

forwarded to the Laboratories Commission for review. An inquiry on the possibility of 専門家にアドバイスを求めることとなった。 transmission of border disease via semen was forwarded to an expert for advice.

16. Animal identification and traceability

The Terrestrial Code Commission noted the report of the third meeting of the ad hoc コード委員会は、加盟国向けの情報として付録XXVに添付した、動物の個体識別 Group on Identification and Traceability of Live Animals, which is at Appendix XXV 及びトレーサビリティについての第3回アドホック会合の報告に留意した。 for Member Countries' information.

General principles for animal identification and traceability (Appendix a) 動物の個体識別及びトレーサビリティについての一般原則 (附則 3.5.1.) a) 3.5.1.)

revised Appendix, which is presented at <u>Appendix XX</u>, is circulated among Member | 附則は、コメントのために加盟国に提示しているものである。 Countries for comment.

Guidelines for animal identification and traceability

The Terrestrial Code Commission noted the progress made by the ad hoc Group on the コード委員会は、動物の個体識別及びトレーサビリティのガイドラインについて、

of H5N1 High Pathogenicity Avian Influenza Virus in Chicken Meat" published by Drs ルエンザウイルスの熱不活化"という題の研究論文の検討をおこなった。コード委| |C. Thomas and D. Swayne (Research report to the USDA, 2006 April 25), which was | 員会は、この論文を、家きん肉における鳥インフルエンザウイルスの熱による不活 sent by a Member Country for the purpose of reconsidering the conditions stipulated in 化についての勧告を修正するための根拠として採用した。卵製品についての研究を Article 3.6.5.2. The Commission used this paper as a basis to modify the 再検討した際の情報が Dr Swayne から提供され、これに基づき、第 3.6.5.1.条が修

示しているものである。

15. 牛及び小反芻獣の精液 (附則 3.2.1.)

The Terrestrial Code Commission examined comments received from Member Countries コード委員会は、この章についての加盟国からのコメントを検討した。第 3.2.1.5. on the chapter. A comment on point 2 a) in Article 3.2.1.5. recommending to remove the 条項目 2 a) についてブルセラ清浄の国の動物の場合、血清検査の要求は必要ないと requirement for a serological test in the case of animals from brucellosis free countries のコメントがあったが、現行の'清浄国'の定義が全動物について感染がないこと

第 3.2.1.5.条項目 3 について、適切な検査法として RT-PCR を利用する提案は、生 A suggestion on Article 3.2.1.5 point 3 to use RT-PCR as a suitable testing method was 物委員会に検討を依頼した。精液を介したボーダー病伝播の可能性に関する質問は、

|16. 動物の個体識別及びトレーサビリティ

The Terrestrial Code Commission addressed the recommendations of the ad hoc Group コード委員会は、一般原則の修正についてアドホック会合及び動物生産及び食品安 and of the Animal Production Food Safety Working Group in revising the principles. The 全に関するワーキング・グループの提案を検討した。付録XXにある、修正された

|b) 動物の個体識別及びトレーサビリティについてのガイドライン

guidelines for animal identification and traceability. It noted questions from Member アドホック会合の進捗に留意した。アドホック会合はガイドラインの将来的な位置 Countries about the intended future status of the guidelines and the need to retain a focus づけに関する質問に留意するとともに、システムを構成する各要素について規定し on outcomes rather than to develop prescriptive guidance based on system design たガイダンスを作るのではなく、その結果に的を絞るべきであるとの加盟国の主張